

市民フォト

No.11・2012年夏号

ふくしま



通信





**勇壮な山車と力強い太鼓、青森ねぶたと**  
**秋田竿燈の応援に奮い立つ 復興への思い**

2年ぶりの開催となった今年は、思いもひとしお。福島市の元気を全国に発信しようと国道13号を会場にして行われた祭りには、福島市内と伊達市内から計16台の山車が参加。息の合った引き回し、力強い太鼓と笛の演奏を披露しました。各町会自慢の山車が練り歩く姿や、無数のちようちんが夕闇に浮かび上がる美

しい姿に沿道からはたくさんの歓声が沸きました。さらに今回は、青森ねぶたと秋田竿燈が一日も早い復興を祈念して特別参加。青森ねぶたの勇壮華麗な姿、秋田竿燈の妙技に、沿道を埋め尽くしたたくさんの人たちは、威勢のいい掛け声で共に祭りを盛り上げました。



▲秋田の竿燈。肩・額・腰に乗せる見事な技に沿道の観客から歓声が上がりました



▲▲青森ねぶたと元気いっぱい跳ねるハネト。福島市で募集した約70人が参加しました



# 復活!! 2012 山車フェスタ

今年6月2日、2年ぶりにふくしま山車フェスタが開催されました。毎年、ふるさとの歴史と伝統を感じることが出来る祭りですが、昨年は、東日本大震災の影響で中止に。今年、震災からの復興を支援するため、青森ねぶた、秋田竿燈も特別参加しました。

福島の  
 元気と笑顔を  
 全国に発信!

ふくしま山車フェスタは、平成19年に行われた市制施行100周年記念事業の一つとして、市内各地区で代々引き継がれてきた自慢の山車が集結し練り歩いた「祝賀山車フェスティバル」をきっかけにスタートしました。





# 魂を一つに 東北六魂祭に 福島あらじまつりが参加

5月26・27日の2日間、盛岡市において大わらじとダンシングソーだナイトを披露  
福島市の「元気」をアピールしてきました



東北六魂祭は、平成23年3月の東日本大震災で犠牲となった多くの魂の鎮魂と被災地域の活性化を目的に、東北の六大祭り（青森ねぶた、秋田竿燈まつり、盛岡さんさ踊り、山形花笠まつり、仙台七夕まつり、福島わらじまつり）が堂に集結。第1回の昨年は仙台市で行われ、来年は福島市での開催も検討されています。東北一丸となって復興を後押しします。



▶岩手県庁前で大わらじをお披露目しました

大わらじを担いで  
盛岡市の中心街を勇壮に  
練り歩きました



## 伏拝若連・伏拝町内会の 山車フェスタにかける思い

福島市の南部に位置する伏拝では、地元の方々が毎年楽しみにしている、須川南宮諏訪神社の例大祭があります。昨年は、東日本大震災の影響で子どもたちのお囃子は中止になりました。

あれから一年。伏拝若連の皆さんは、子どもたちにつても多く楽しい時間を提供したいと「2012ふくしま山車フェスタ」に参加することを決め、大人も子どもも一丸となって福島への元気を全国に発信しました。新たな一歩を踏み出した伏拝若連会長の尾形和行さんに祭りの魅力を伺いました。

祭りのワクワク感を  
地域の活力に！



伏拝若連会長 尾形和行さん



▲祭りに向けてお囃子の練習をする子どもたち

聞こえてくると血が騒ぎます（笑）。ワクワク感を地域の活力にしたいと、みんなであれやこれや工夫しながら続けてきました。すぎなりちようちん（山車の屋根の上にタワー状に付けるちようちん）を加えて山車を華やかにしたのは、平成7年の福島国体がきっかけでした。同19年には、「祝賀山車フェスティバル」に参加。「その後、毎年開催されてきた山車フェスタにも、スケジュールが許す限り参加して地元

の祭りを広く伝えてきました」  
尾形さんたちが常に大切に思っているのは、子どもたちが喜ぶ顔です。「今回の『山車フェスタ』も、参加したらきくと喜ぶだろうと思つて決めました。1年間のプランクがあったにもかかわらず、練習ですぐに勘を取り戻した子どもたちに、何とも言えない頼もしさを感じました」

約2万人の観衆を前に  
自分たちの全てを出し切る

山車フェスタ当日は、小学5年生から高校2年生までの20人と、伏拝若連と町内会役員の皆さん25人で参加。沿道を埋め尽くす約2万人の観衆に自分たちが持っている全てを出し切りました。その達成感も祭りの魅力の一つ。「今回、初めて太鼓や笛を担当した子どもたちは、もっと練習してうまくなりたいと思つたはず。私たちは華やかな山車をもっと多くの人に見てもらつて互いの活力にしたいと思つました。若い人から子どもたちへ祭りの魅力を受け継ぎたいと思つています」。世代間の交流と地域の活力が、復興へのエネルギーとなります。





**2**  
 霞町・市民会館に  
 子どもの遊び場  
 ができます

屋外での遊びを控える子どもたちのため、市内中心部、霞町にある市民会館に砂場や遊具などを備えた屋内遊び場を作ります。また、太陽の下で思い切り遊び、外遊び再開のきっかけとなるように、市内北部の放射線量が特に低い飯坂町茂庭地区にある広瀬公園に、遊具などを新たに整備します。外遊びならではの開放感と自然に触れ合う機会を提供します。親子が利用しやすいように、無料の連絡バスの運行を予定しています。



▲広瀬公園の近くにある摺上川の滑滝では、夏になると涼を求め多くの家族連れが訪れます

▲ホールを屋内遊び場へリニューアル予定の市民会館第1ホール。9月中のオープンを目指し、準備を進めています

**3**  
 茂庭・広瀬公園に  
 遊具などを新たに  
 整備します



▲現在の広瀬公園。夏休みに子どもたちが遊べるよう8月中のオープンを目指しています



伸び伸びと元気に遊ぼう  
 福島の子どもたち

～ 子どもたちが安心して遊べる場所を準備しています～



子どもたちを元気に遊ばせることができるだけでなく、保護者の皆さんのコミュニケーションの場にもなっています。ぜひ遊びにきてください。

市社会福祉協議会  
 宗像正彦さん

福島市森合町にある保健福祉センター16階に「おもちゃ広場」がオープンしました。ままごとセット、大型遊具などさまざまなおもちゃをそろえています。日替わりでイベントも多数開催。市社会福祉協議会とボランティアの皆さんが運営しています。

**1**  
 保健福祉センター6階  
 「おもちゃ広場」  
 オープン!

**おもちゃ広場**  
 対象/福島市内の小学生以下  
 (小学3年生以下は保護者同伴)  
 利用時間/月～土曜日・午前10時～午後3時  
 利用料金/100円(年会費)  
 問い合わせ/福島市社会福祉協議会  
 ☎024-533-8877

民営の子ども遊び場をご紹介します



**4** Kid's US. LAND MAXふくしま店  
 営業時間/午前10時～午後9時  
 (最終入場は午後8時まで)  
 利用料金/15分/105円  
 ※初回のみ会員カード作成料300円  
 問い合わせ/☎024-573-7467



**5** キッズパーク (スーパースポーツプラザ福島矢野目店)  
 営業時間/月～金曜日▶正午～午後6時  
 土・日・祝日▶午前10時～午後6時  
 利用料金/無料  
 問い合わせ/☎024-555-1240  
 ※ご利用多数の際は入場・時間制限あり



**6** アクスキッズランド (AXC)  
 営業時間/午前10時～午後6時30分  
 (最終入場は午後6時まで)  
 利用料金/1人500円(0歳児は無料) 時間無制限  
 ※初回のみ会員カード作成料250円  
 問い合わせ/☎024-525-8280

※平成24年7月1日現在



▲すべり台で元気いっぱい遊ぶ子どもたち



▲小さな子どもたちが楽しく遊ぶおもちゃがたくさんあります



▲子どもたちの笑顔があふれます。保護者同士の交流も盛ん



# ふくしま夏のイベント情報

## ■第43回福島わらじまつり

わらじおどり、わらじ競走、ダンシングソーダナイト、台湾民族舞踏団の演舞。  
今年、新たに中わらじパレードが行われます。

と き／1日目▶8月3日(金) 午後5時30分～9時30分  
2日目▶4日(土) 午後5時30分～9時

と ころ／国道13号信夫通り  
問い合わせ／福島わらじまつり実行委員会(商工会議所内) ☎024-536-5511

## ■福島七夕まつり・花市

豪華な手作りの「七夕飾り」がパセオ470を彩ります。また市内の園芸農家  
や花店がお盆に向けて色とりどりの花を持ち寄って販売します。

### □七夕まつり

と き／8月6日(月)～8日(水)

### □花市

と き／8月12日(日) 正午～午後8時

と ころ／パセオ470

問い合わせ／置賜町スラン通り商店街協同組合  
(あきたや楽器店内)  
☎024-521-1515



## ■福島とうろう流し

美しい「とうろう」が阿武隈川の河畔に並べられ、  
約3,000発の花火が打ち上げられます。

と き／8月17日(金) 午後6時30分～

と ころ／阿武隈川県庁裏河畔

問い合わせ／福島とうろう流し発興会  
☎024-539-6555  
(自動アナウンス)



## 鼓笛パレード開催



5月16日、小学校鼓笛パレードが2年ぶりに開催され、市内中心部に子どもたちの元気なアンサンブルが響きわたりました。

昨年は東京電力福島第一原発事故の影響で中止となった鼓笛パレード。今年は、多くの皆さんの支えにより実施されました。

観衆を前に、思う存分練習の成果を発揮した子どもたち。充実した表情と勇姿を見せ、沿道の観衆から温かい声援が送られました。



▲市内51校、3,795人の児童が参加

問 放射線総合対策課  
☎024(535)1136

詳しくは市ホームページをご覧ください。ただか、お問い合わせください。

### 【主な変更点】

- 国・県が管理する施設以外の住宅、宅地、事業所、商業施設などは、市が主体となって除染。
- 昨年6月現在、0.23マイクロシベルト/時以上の地域を対象に除染を実施することを明記。
- これまでの測定結果により、平成24年度以降の除染地域の優先度を明記。
- 除去土壌などの保管形態を明記し、保管状況の市への報告を義務付け。

## 福島市 ふるさと除染 実施計画 ＜第2版＞ 策定

「放射性物質汚染対処特別措置法(通称)」が今年1月に全面施行されたことから、市は昨年9月に策定した本計画を、法が定める要件を満たすよう一部を見直し、5月21日付で(第2版)を策定しました。

## CONTENTS

2 2012  
ふくしま山車フェスタ

6 福島市子どもの遊び場  
伸び伸びと元気に遊ぼう  
福島の子もたち

～子どもたちが安心して遊べる場所を準備しています～

8 インフォメーション

- ふくしま夏のイベント情報
- 福島市ふるさと除染実施計画＜第2版＞策定
- 鼓笛パレード開催

### 表紙紹介

「2012  
山車フェスタ」

撮影地：国道13号信夫通り



2年ぶりの開催となった山車フェスタ。16台の山車が夜のふくしまの街を彩り、たくさんの人で賑わいました。

## 市民フォト・ふくしま夢通信

平成24年8月1日発行 No.11 2012年夏号

ホームページもご覧ください ▶

福島市

検索



編集  
発行

福島市役所 広報広聴課

〒960-8601 福島市五老内町3-1  
☎024-525-3710 FAX.024-536-9828

E-mail : kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp